木造 2F 10 戸程度

木造 2F 10 戸程度

木造 2F 20 戸程度

木造 2F 20 戸程度

1 第1・第3豊岡団地の位置・概要



第1・第3豊岡団地の住所

第1豊岡団地:旭川市5条通

第3 豊岡団地:旭川市豊岡

6条1丁目

24丁目

第1・第3豊岡団地建替前の 各団地の管理戸数

第1 豊岡団地:180戸 第3豊岡団地:188戸

第2 豊岡団地: 202戸→235戸 (建替事業中)

東豊団地 : 16戸→ 0戸

(2 豊に統合)

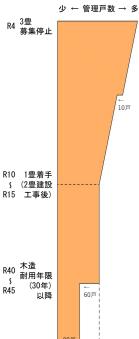
計) (合 603戸

2 旭川市の状況に合わせた住戸の整備

旭川市の人口は、減少傾向が続いており、今後も減少が予想される。平成28年の人口は 343,393人で、令和3年の人口は328,589人である。第8次旭川市総合計画では、平成28年度 から令和9年度まで年間約0.8%ずつ減少し、令和9年度には312,000人となる推計である。ま た、旭川市人口ビジョンにおける将来人口の推計パターンの1つでは、令和4年から令和13 年までの10年間で約10%の減少となっており、令和13年には293,637人となる推計である。

整備する戸数は、旭川市の人口の推移などを考慮して150戸とし、80戸は30年以上の使用、 70戸は30年以下の使用することとして整備する。

〇管理戸数推移のイメージと管理戸数の抑制策



←事業開始までの入居者の減

第1豊岡団地の着手は、本市全体の財政的状況から第2豊 岡団地の整備後の令和10年度以降からの予定となる。 したがって、第1豊岡団地から第2豊岡団地への入居者の 移転、第3豊岡団地入居者の募集停止、経過年数による自 然減によって整備戸数を少なく抑えられる。

←借上市営住宅の活用

豊岡地区を中心とした市内の民間の既存住戸を借り上げ,市 営住宅として活用することで、建設戸数を抑制する。 借上戸数は10戸とする。借上市営住宅の確保と借上市営 住宅への移転希望の状況により借り上げる住戸数が増加した 場合には、建設する戸数を減じる。

←団地の集約化

第3豊岡団地は、道路の接道状況が悪く、まとまった住戸 を建設することが難しいため、第3豊岡団地での現地建替 えを行わず、第3豊岡団地を第1豊岡団地に集約する。

第1・第3豊岡団地建替後の各団地の管理戸数

第1・3豊岡団地:180戸+188戸→140戸+0戸 第2豊岡団地 : 235戸 (合計) 375戸

←長期的な人口減少への対応

従来の鉄筋コンクリート造での整備だけでなく、鉄筋コンク リート造より耐用年限が短い木造で整備し, 耐用年限経過後 に不要な住棟を廃止することで管理戸数を削減する。

3 整備基本方針と計画条件・土地利用方針

整備基本方針

団地の再生"と"地域の住環境向上"に向けて

計画条件・土地利用方針

計画条件

- ①第1豊岡団地に整備する戸数は、借上住戸の10戸 を除いた140戸とする。
- ②住戸タイプ別の割合

1LDK: 25戸(約18%)

単身世帯用70戸(約50%) 2DK : 45戸(約32%)

2LDK: 45戸(約32%)

家族世帯用70戸(約50%) 3LDK: 25戸(約18%)

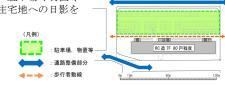
③鉄筋コンクリート浩ど木浩の割合 鉄筋コンクリート造:80戸(約57%) : 60戸(約43%)

※戸数は、現段階での試算によるもので、変更とな

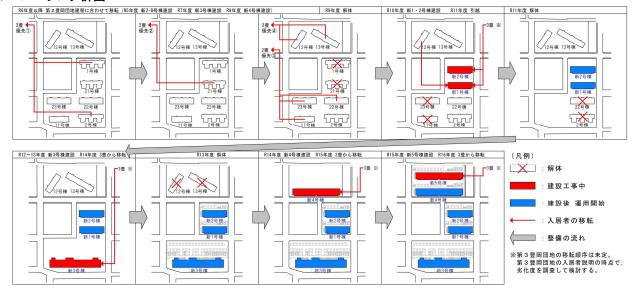
ることがある。

土地利用方針

- ①団地敷地で分断されている道路に ついて、市道認定を見越した整備 を実施する。
- ②南側道路が周囲の道路とずれが生 じている箇所を基本設計時に整理 する。
- ③3つに分かれた各ブロックの南側 に住棟を, 北側に駐車場や物置等 を配置し,周辺住宅地への日影を 少なくする。



ローリング計画



建築計画 5

